

1.保健学の学問体系の確率と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進することにより、世界に向けてその成果を発信できる人材 2.高い倫理観と高度な専門的知識に基づいた実践能力を持ち、保健・医療・福祉の現場あるいは大学・大学院において専門的・指導的立場から課題を見つけ、自立的な研究や教育研究指導を行える人材

博士(保健学) 学位授与

最終論文審査会

・論文発表会と保健学委員会による審査

論文要旨・審査結果の公開

・保健学委員会における要旨、論文審査結果の公開

18単位以上を修得

(保健学分野 博士課程)

3年次

2年次

1年次

特別研究

6単位(必修)

- ・各ユニットにおける研究進捗状況の報告と討論
- ・特論、演習、セミナーを通じた論文執筆のための素養の獲得
- ・学会参加による研究発信能力と最新情報の獲得
- ・教員間の研究に関する情報の共有と院生へのフィードバック

グローバルな情報発信能力・参画力

保健・医療・福祉の現場における研究推進能力と指導力

情報分析能力

情報収集能力

ユニット別演習

2単位以上(指定選択)
(各ユニット別に設けられている演習科目より1科目指定、他は選択)

専門分野の高度な研究技術

専門分野の高度な実践能力

専門分野の深い学識

専門関連分野における幅広い学識

ユニット別特論

2単位(必修)
(各ユニット別に設けられている特論を指定)

専門分野の深い学識

情報収集・分析能力

分野共通科目

2単位(必須) (保健・医療・福祉連携特論)

専攻共通科目

2単位(必須) (生命倫理・研究倫理特論)

2単位(選択必須) (医学統計・疫学特論、生涯保健学研究法特論)

高い倫理観

保健学分野に関する幅広い学識

分野別マネジメント能力

TA・RAでの指導能力

研究科共通科目 2単位(必修) (先鋭領域融合研究群最先端研究特講)

総合的な課題解決能力

洞察力

俯瞰力

主旨導教員及び副指導教員2名の設定

・オープンキャンパス開催時の複数教員との面談や入学資格審査時における教員との面談により決定

授業科目・研究指導

論文発表会

・全保健学科教員に対する公開発表会

1次論文審査会

・審査委員会による口頭試問による審査

学位論文提出

審査委員会委員の決定

- ・主旨導教員≠審査主査
- ・4名の教授(必要と認める際は研究指導資格を有する准教授をもって代えることができる)(1名は外部の委員)

論文予備審査

・IFのついている英文誌、信州医誌(英文に限る)もしくは保健学委員会が認めた当該領域で権威のある邦文雑誌に限定

学会誌等への学術論文投稿

・英文雑誌もしくは保健学委員会が認めた雑誌に限定

論文作成

学位論文作成・論文審査

- 1.保健学領域において、科学的・倫理的な思考に基づいた独創的かつ実践的な研究を遂行することに意欲のある人
- 2.保健・医療・福祉の現場あるいは大学・大学院において専門的・指導的立場から研究や教育を行うことに意欲のある人
- 3.保健医療職者に対し、質の高い臨床研究方法に関する指導を実践することに意欲のある人